学校番号	119

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	５単位	年次	１年次
使用教科書	精選国語総合　（東京書籍）						
副教材等	やさしくくわしい古典文法（尚文出版）, 現代文解放のテクニック１　基礎編（啓隆社）, 改訂増補版　最新国語便覧（浜島書店）, 漢字ボックス　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では社会人に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・講義形式だけでなく、音読や意見交換などの生徒自身の活動を重視します。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・適切なノート作りをし、予習・復習に取り組んでください。
・漢字や文法事項の確認・定着のため、適宜小テストを行います。事前に準備してから受けましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・現代文の読解を通して、多面的なものの見方や独自の意見を表現する力を育成する。
・古文・漢文に親しみ、基礎知識の定着を図りつつ、個人の考え方を理解させる。育成する。
・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （グループワーク等のパフォーマンス評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	【現代文】随想・小説	【現代文】 ・文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。 ・小説の特性を理解し、文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。						【現代文】 e・重要語句と漢字を理解する。 d・筆者の主張を的確に読み取り、自分自身に照らし合わせて考える。 d・近代小説の名作に親しみ、場面や登場人物の心情の変化を表現に即して読み味わう。 d・作品を読み比べ、ものの見方や考え方を広げたり深めたりする。 e・さまざまなレトリックの特徴と効果について理解を深める。 b・他者と伝え合うことに意欲をもち、「話すこと・聞くこと」の基礎を身につける。	・観察(発言・発表) ・ノート ・ワークシート ・自己評価 ・相互評価 ・感想文 ・小テスト ・定期考査
							○		
						○			
						○			
						○			
							○		
				○					
	【古典】古文入門・物語・随筆	【古典】 ・口語との仮名遣いやことばの違いを理解する。 ・音読を通して古文のリズムに触れる。 ・古語辞典の引き方を習得する。 ・古典文学を通じて中世の人々の考え方に触れる。 ・動詞の活用、係り結びを学ぶ。						【古典】 e・古語辞典の利用法を知る。 e・古典の文法の基礎について理解を深める。 e・文章表現の特色を理解する。 a・繰り返し音読して古文の読みやリズムに慣れる。 d・古文に親しみ、的確に内容を読み取る。 d・登場人物の行動に注目して読み、場面の展開を把握する。	
							○		
							○		
							○		
			○						
						○			
						○			

2学期	【現代文】評論・小説・韻文	【現代文】 評論の読解を通して論理的文章の構成や論理展開に慣れる。 ● 小説の特性や登場人物の心情を理解した上で、自分なりの感想を持ち、表現させる。 ・韻文		○	○	○	○ ○ ○	【現代文】 e・重要語句と漢字を理解する。 d・論理の展開を理解し、具体例を踏まえ、筆者の主張を読み取る。 c・筋道を立てながら論理的に自分の意見を書く。 d・登場人物の心理や状況を読み取り、人間社会などについての考えを深める。 e・韻文に親しみ、それぞれの形式や表現の特色を理解する。 b, d・作品を味わい、人生や自然に対する見方、感じ方、考え方を深める。	・観察（発言・発表） ・ノート ・ワークシート ・自己評価、相互評価 ・感想文 ・小テスト ・定期考査
	【古典】物語・軍記・漢文入門・故事成語	【古典】 ・古典の代表的な作品の読解を通して、現代人と古代人の感覚の相違と共通性を認識させる。 ・古典文法の基礎知識を定着する。 ・漢文のきまりを理解する。 ・漢文の鑑賞を通して、特性や語調に触れる。				○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		【古典】 e・漢和辞典の利用法を知る。 e・古典知識を身につける。 e・漢文訓読のきまりを理解する。 d・登場人物の性格や心理の動きを読み取る。 e・文章中の表現の特色について理解する。 d・古人の価値観について理解と認識を深める。 d・作品を読み、ものの見方、考え方を広げたり深めたりする。 e・熟語の構造、漢語の由来について理解する。	

3学期	【現代文】小説	【現代文】 ・小説の特性を理解し、文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、描かれている事柄に対し、問題意識を持つ。				○ ○ ○		【現代文】 e・重要語句と漢字を理解する。 d・作品内容や登場人物の心情の変化、人物像を読み取り、問題となっていることについて考えを深める。 d・小説の場面の展開などについて理解を深める。	・観察（発言・発表） ・ノート ・ワークシート ・自己評価、相互評価 ・感想文 ・小テスト ・定期考査
	【古典】日記・紀行・古代の史話	【古典】 ・古典日記や紀行文を通して情景と作者の心情のかかわりを理解させる。 ・長い文章を読み、漢文の読解に慣れ、文章の内容を的確に読み取る。	○			○ ○ ○ ○	○ ○	【古典】 d・登場人物の性格や心理の動きを読み取る。 d・作品から読み取れる内容をもとに現代との違いや共通点に気づく。 e・文章表現の特色と論の展開の仕方について理解する。 d・本文の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 d・様々な人物像を通して、人間の生き方について考えを深める。 a・漢文に親しみ、歴史物語のおもしろさを味わう。 e・作品の時代背景について理解する。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。